



## 2018年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD

コード番号 9759 URL <http://www.nsd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理・IR室長 (氏名) 八木 清公

TEL 03-3257-1250

四半期報告書提出予定日 2017年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年3月期第1四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	14,263	7.3	1,777	28.4	1,816	30.4	1,126	37.5
2017年3月期第1四半期	13,297	11.4	1,384	26.4	1,393	23.4	819	31.7

(注) 包括利益 2018年3月期第1四半期 1,244百万円 (61.2%) 2017年3月期第1四半期 772百万円 (11.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第1四半期	26.42	26.42
2017年3月期第1四半期	19.05	19.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第1四半期	48,217	42,297	86.5
2017年3月期	50,910	43,977	85.2

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 41,717百万円 2017年3月期 43,374百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2018年3月期	—	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	0.00	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,500	2.4	3,250	7.3	3,250	6.9	2,100	9.0	49.38
通期	57,000	3.2	7,450	3.9	7,550	3.4	5,000	10.0	117.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期1Q	48,172,160株	2017年3月期	48,172,160株
② 期末自己株式数	2018年3月期1Q	5,768,444株	2017年3月期	5,255,654株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期1Q	42,650,444株	2017年3月期1Q	43,016,831株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

- ・四半期決算補足説明資料は、2017年7月27日（木）に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の我が国経済につきましては、米国新政権の政策に関する不確実性や東アジアでの地政学的リスクの影響から先行き不透明な状況が続きましたが、企業業績が高水準で推移したこと等から、個人消費・設備投資が持ち直すとともに、雇用情勢が改善するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

情報サービス産業におきましては、金融機関によるシステム再構築に係る大型投資、オリンピックに向けた開発需要のほか、AIやIoTなど、企業の競争力強化や収益拡大につながる新技術への投資の拡大もあり、受注環境は引き続き良好に推移しました。

このような状況の中、当社グループは3ヵ年の中期経営計画の最終年度を迎え、計画に掲げた目標を達成すべく、積極的な受注活動を継続するとともに、医療IT・教育ITにおける自社製品の展開など、サービス利用型ビジネスへの取り組みを強化・推進してまいりました。さらに、新技術へのニーズがより一層高まるなか、新たなビジネス領域を拡大させることを目的に、4月に3つの専門部署を新設し新技術への対応力を強化しました。

その結果、当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	14,263百万円	(前年同期比 7.3%増)
営業利益	1,777百万円	(前年同期比 28.4%増)
経常利益	1,816百万円	(前年同期比 30.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,126百万円	(前年同期比 37.5%増)

当第1四半期における売上高につきましては、主力のシステムソリューションサービス事業が順調に推移したことから、前年同期比7.3%の増収となりました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、増収による利益の増加や子会社の販売管理費の減少等により、いずれも前年同期比大幅な増益となりました。

また、事業のセグメント別の業績は、以下のとおりとなりました。

## &lt;システムソリューションサービス事業&gt;

システムソリューションサービス事業につきましては、システムの受託開発において、金融業からの受注が引き続き高水準であったことや、サービス業・通信業・公共団体からの受注が大きく伸びたことから、売上高は、前年同期比7.3%増収の14,167百万円となりました。

## &lt;不動産賃貸事業&gt;

不動産賃貸事業につきましては、賃貸不動産の空室率を前年同様に低位に抑えたことから、売上高は前年同期比横ばいの95百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2,692百万円減少し、48,217百万円となりました。内、流動資産は2,876百万円減少の34,196百万円、固定資産は184百万円増加の14,021百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、有価証券が1,000百万円増加したものの、現金及び預金が2,443百万円、受取手形及び売掛金が1,319百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、投資有価証券が105百万円、投資その他の資産その他が139百万円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,011百万円減少し、5,920百万円となりました。内、流動負債は1,020百万円減少の5,505百万円、固定負債は8百万円増加の415百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金が145百万円、未払法人税等が791百万円、賞与引当金が158百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、退職給付に係る負債が10百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1,680百万円減少し、42,297百万円となりました。

純資産減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,126百万円増加したものの、配当金支払いにより1,888百万円、自己株式取得により1,001百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は86.5%（前連結会計年度末85.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2017年4月27日に発表しました業績見通しに変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,989,365	22,545,506
受取手形及び売掛金	11,209,072	9,889,150
有価証券	—	1,000,060
商品及び製品	141,869	65,758
原材料及び貯蔵品	7,279	10,652
その他	751,226	706,242
貸倒引当金	△25,063	△20,547
流動資産合計	37,073,750	34,196,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,483,227	3,439,541
土地	4,770,117	4,769,275
その他(純額)	355,972	369,717
有形固定資産合計	8,609,318	8,578,533
無形固定資産		
のれん	557,156	539,302
その他	589,962	577,219
無形固定資産合計	1,147,118	1,116,522
投資その他の資産		
投資有価証券	1,972,324	2,078,323
その他	2,108,658	2,248,543
貸倒引当金	△760	△760
投資その他の資産合計	4,080,223	4,326,106
固定資産合計	13,836,660	14,021,161
資産合計	50,910,410	48,217,985
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,172,776	2,027,323
未払法人税等	1,514,718	722,938
賞与引当金	405,979	247,713
役員賞与引当金	—	9,000
株主優待引当金	56,086	50,643
その他	2,375,908	2,447,644
流動負債合計	6,525,469	5,505,264
固定負債		
退職給付に係る負債	341,107	351,143
その他	66,023	64,296
固定負債合計	407,130	415,440
負債合計	6,932,599	5,920,704

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,205,864	7,205,864
資本剰余金	6,892,184	6,892,184
利益剰余金	37,846,792	37,085,203
自己株式	△6,987,122	△7,988,847
株主資本合計	44,957,719	43,194,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351,354	428,403
土地再評価差額金	△1,005,325	△1,005,325
為替換算調整勘定	243,250	238,823
退職給付に係る調整累計額	△1,172,407	△1,138,963
その他の包括利益累計額合計	△1,583,128	△1,477,062
非支配株主持分	603,219	579,937
純資産合計	43,977,810	42,297,281
負債純資産合計	50,910,410	48,217,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	13,297,237	14,263,406
売上原価	10,769,452	11,518,758
売上総利益	2,527,785	2,744,648
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	435,894	366,431
賞与引当金繰入額	7,905	20,455
役員賞与引当金繰入額	17,500	9,000
退職給付費用	12,886	10,633
福利厚生費	151,690	139,651
賃借料	88,477	90,930
減価償却費	32,093	31,500
研究開発費	56,670	2,899
その他	340,609	295,393
販売費及び一般管理費合計	1,143,727	966,894
営業利益	1,384,057	1,777,753
営業外収益		
受取利息	1,154	923
受取配当金	16,912	16,218
その他	23,321	25,698
営業外収益合計	41,388	42,841
営業外費用		
為替差損	26,738	—
租税公課	1,187	812
支払手数料	3,009	2,707
その他	839	153
営業外費用合計	31,775	3,674
経常利益	1,393,670	1,816,920
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,309
特別利益合計	—	1,309
特別損失		
投資有価証券評価損	18,740	—
減損損失	271	13,403
特別損失合計	19,011	13,403
税金等調整前四半期純利益	1,374,658	1,804,826
法人税等	535,659	666,403
四半期純利益	838,999	1,138,422
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,717	11,684
親会社株主に帰属する四半期純利益	819,282	1,126,737

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	838,999	1,138,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,729	77,048
為替換算調整勘定	△73,660	△3,964
退職給付に係る調整額	36,901	33,444
その他の包括利益合計	△66,488	106,528
四半期包括利益	772,511	1,244,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754,017	1,232,803
非支配株主に係る四半期包括利益	18,493	12,147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算をしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソリューションサービス事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,202,474	94,762	13,297,237	—	13,297,237
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,689	5,689	△5,689	—
計	13,202,474	100,451	13,302,926	△5,689	13,297,237
セグメント利益	1,362,975	33,645	1,396,620	△12,562	1,384,057

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,562千円には、セグメント間取引消去22千円、全社費用△12,585千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソリューションサービス事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,167,828	95,578	14,263,406	—	14,263,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,257	5,257	△5,257	—
計	14,167,828	100,835	14,268,663	△5,257	14,263,406
セグメント利益	1,750,409	38,920	1,789,329	△11,576	1,777,753

(注) 1. セグメント利益の調整額△11,576千円には、セグメント間取引消去24千円、全社費用△11,601千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。